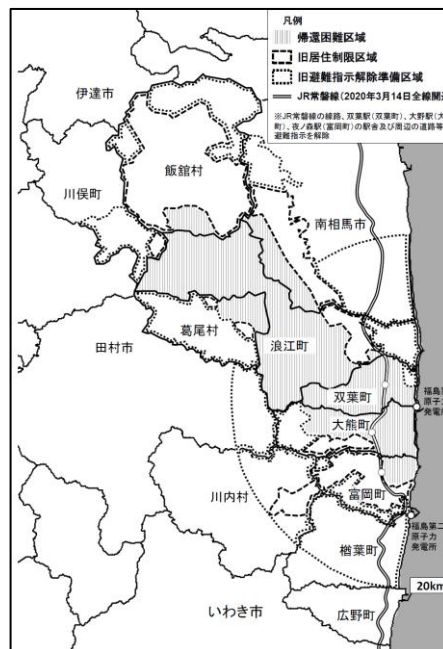


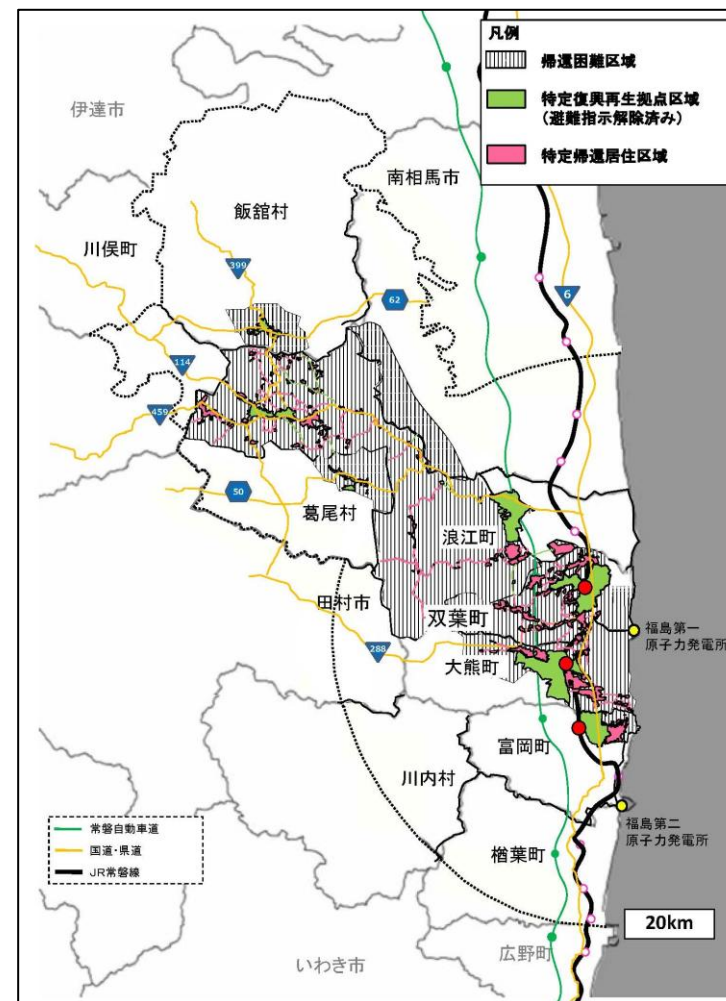
# 避難指示の解除について



2013年8月時点  
(区域の見直しが完了した時点)



2020年3月時点  
(帰還困難区域を除く全ての避難  
指示解除準備区域と居住制限区域  
の避難指示の解除)

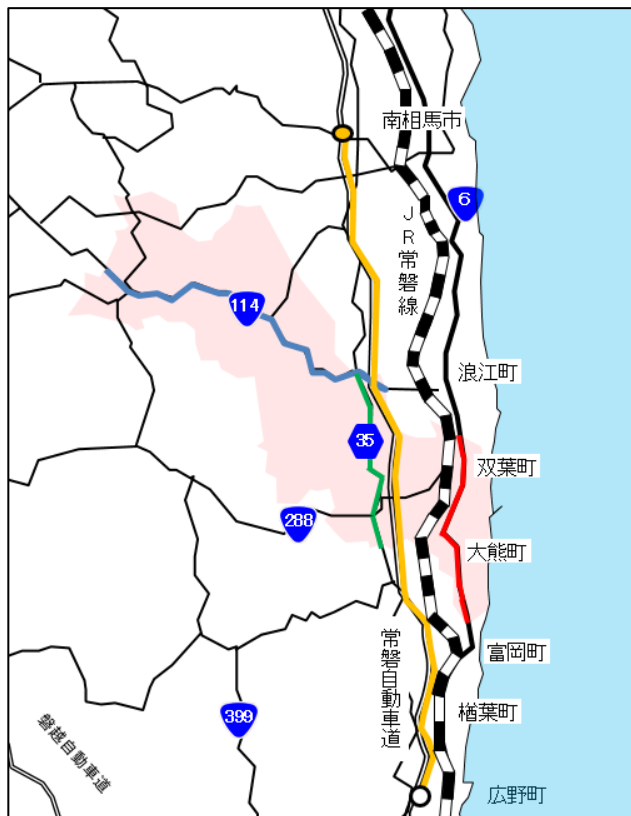


2024年4月時点

出典：経済産業省「原子力被災者支援（避難指示関係）」<https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html>、復興庁資料等より作成

※これまでの詳細な変遷については上記にて掲載。

# 帰還困難区域の主要幹線の交通について



- **常磐自動車道**：2015年3月に全線が開通しました。  
出典：[https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press\\_release/head\\_office/h26/1225/](https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h26/1225/)
- **JR常磐線**：2020年3月に全線が運転再開しました。  
出典：[https://www.jreast.co.jp/press/2019/20200117\\_ho01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2019/20200117_ho01.pdf)
- **国道・県道**：国道6号線は2014年9月～、国道114号線は2017年9月～、県道35号線は2019年9月～、通行証の所持・確認なく通過できることとなりました。

通過時の運転手の被ばく線量					
線量調査期間		2018年11月 ～ 2019年1月	2017年 8月	2019年 11月～12月	
区間		常磐道 広野IC～ 南相馬IC	国道114号線 川俣町境～ 浪江IC	国道6号線 帰還困難 区域内	県道35号線 帰還困難 区域内
通過時の 被ばく 線量 (単位：μSv)	自動車	0.28	1.01	0.39	0.51
	自動 二輪車	0.34	—	0.49	0.63

参考) 東京～ニューヨーク間フライト(往復)時の被ばく線量：約80～110μSv

出典：原子力被災者生活支援チーム  
「国道114号、国道399号、国道459号、県道49号及び県道34号における帰還困難区域の線量調査結果について(2017年9月15日)」  
「国道6号・国道114号・県道34号・県道35号・県道36号・県道253号・県道256号における帰還困難区域の線量調査結果について(2020年1月30日)」  
NEXCO東日本ホームページ(<https://jobando.jp/hibakusenryo/hibakuryo.html>)より作成

## 特定復興再生拠点区域の整備

【特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定状況・避難指示解除の目標時期】

市町村名	認定日	避難指示解除の目標
双葉町	2017年9月15日	2022年春頃 (2022年8月30日に解除)
大熊町	2017年11月10日	2022年春頃まで (2022年6月30日に解除)
浪江町	2017年12月22日	2023年3月 (2023年3月31日に解除)
富岡町	2018年3月9日	2023年春頃 (2023年4月1日及び 11月30日に解除)
飯舘村	2018年4月20日	2023年春頃 (2023年5月1日に解除)
葛尾村	2018年5月11日	2022年春頃まで (2022年6月12日に解除)

特定復興再生拠点区域の例（双葉町）



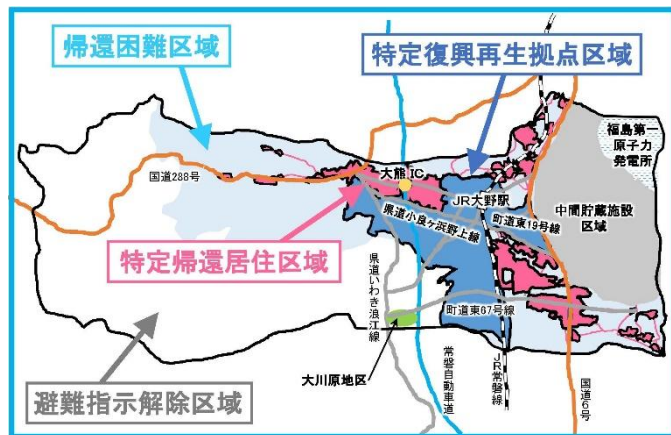
復興庁「特定復興再生拠点区域復興再生計画」  
<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/saiseikyoten/20170913162153.html>

原子力災害対策本部「特定復興再生拠点区域の避難指示解除と帰還・居住に向けて（案）」（2018年）より作成

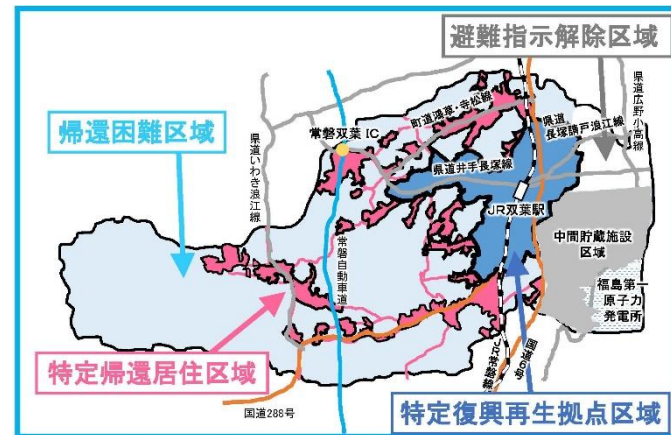
# 特定帰還居住区域の整備と放射線防護対策について

## 【各町村の特定帰還居住区域】

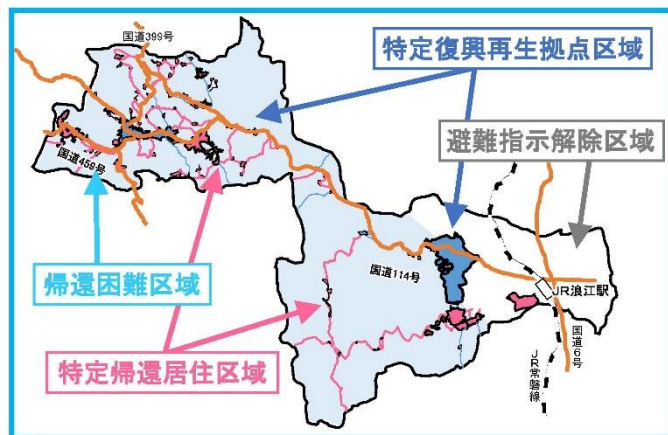
大熊町（令和5年9月29日認定、令和6年2月2日変更）



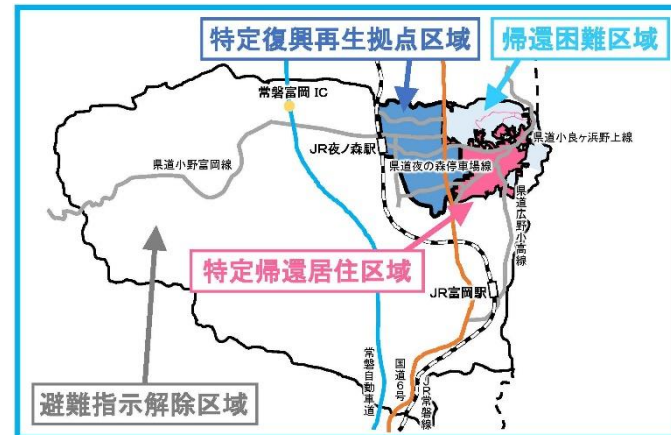
双葉町（令和5年9月29日認定、令和6年4月23日変更）



浪江町（令和6年1月16日認定）



富岡町（令和6年2月16日認定）



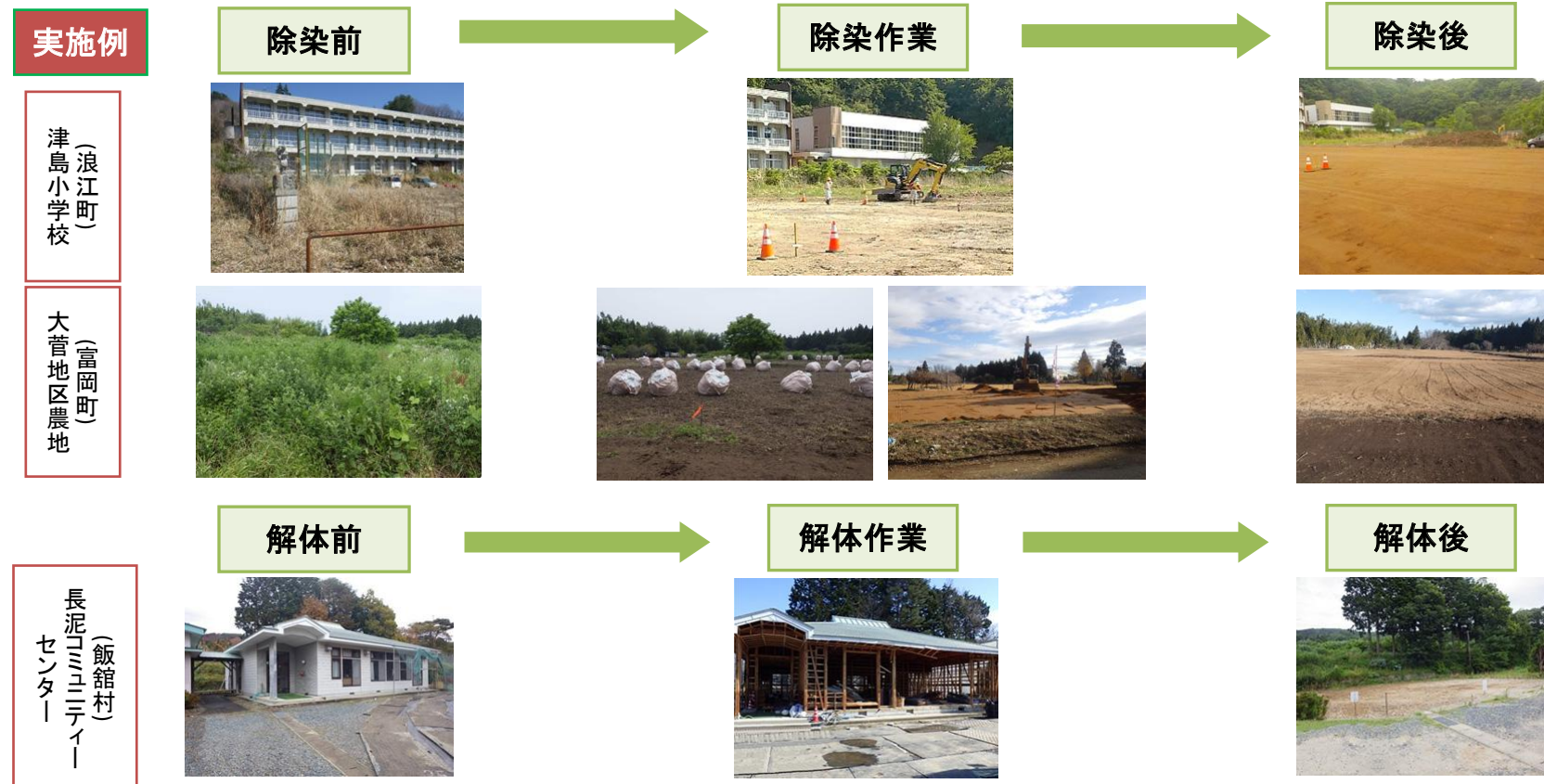
復興庁「特定帰還居住区域復興再生計画」、「復興の現状と取組」等より作成



## 事故からの 復興・再生

# 特定復興再生拠点区域及び特定帰還居住区域における 家屋等の解体について

- 6町村（双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯館村及び葛尾村）全てで家屋等の解体・除染工事に着手し、駅前広場や幼稚園、体育館等の公共施設で工事が終了するなど、環境再生の取組が着実に進捗。
- 特定復興再生拠点区域全体の避難指示解除の目標である2022年春頃から2023年春頃の避難指示解除に向けて、関係省庁等と連携しながら、拠点区域内の家屋等の解体・除染作業を実施。
- 特定復興再生拠点区域における除染は9割を超え、家屋等の解体は申請件数に比して約87%が完了（2024年10月末時点）。
- 認定した特定帰還居住区域復興再生計画に基づき、4町（大熊町、双葉町、浪江町及び富岡町）において順次、特定帰還居住区域の除染や家屋等の解体に着手。



環境省作成